



懸け橋

練馬区立石神井西中学校
学校だより 第9号
平成31年1月15日
校長 松丸 晴美

「未来に向けて備えるべき力は？」

新年おめでとうございます。今年も皆様にとって良き年になりますことを祈念申し上げます。

穏やかな天気にも恵まれた冬休み明けの1月8日（火）、3学期の始業式を迎えました。

3学期はわずか50数日ですが、締めくくりの学期となります。一人一人の生徒が、年度初めにたてた目標に少しでも近づけるよう今年も全教職員で力を合わせ支援していきます。

さて今から30年前の昭和の終わり頃の職員室を思い出してみますと、パソコンやワープロなどの事務機器はまだ導入されておらず、テスト問題の作成も、成績を出したり、通知表を作成するのも手書きが中心でした。今や目覚ましい科学技術の進歩で、教職員一人に1台のパソコンが貸与され、校務のほとんどはパソコンで行なっています。授業でもプロジェクターや実物投影機などのICT機器が頻繁に使用されるようになりました。

近未来社会では今よりAI（人工知能）の開発が進み、生徒が社会人として活躍する頃は、職種も働き方も今とは大きく変わってくるでしょう。そのような時代の到来に向けて学校はどのような力の育成に力を入れていくべきなのでしょう？AIの不得意そうな企画力やコミュニケーション力、チャレンジ精神などが考えられますが、私は、「自分の考えや意見をもち、相互に伝え合う力」や「文章の内容を正しく理解できる力」を育成することが、特に大切なのではないかと思います。前者の「対話力」を伸長するために、本校では昨年度から、道徳授業を中心に、生徒が自分の考えをもち、相互に話し合う活動を通し、さらに自分の考えを深めることができるように授業改善を進めてきました。最近生徒に行ったアンケート調査では、「自分の考え

たことや他の人の考えを聞いたことが役立っている」と答えた生徒の数が増え、成果があがっていることが裏付けられました。

一方で、後者の「読解力」については、国や東京都の学力調査の本校の結果からは、「主として活用」「読み解く力」に関する問いの正答率は概ね良好な結果を示しています。しかし最近、「教科書が読めない子どもたち」という本が話題になり、中学校の教科書レベルの文章を正確に理解できない、いわゆる読解力に課題のある子供が増え、このままではAIとの競争に負けてしまうといった趣旨のことが取り上げられ、とても気になっています。

読解力を高めるには昔から「読書」が推奨されていますが、SNSによる短文型のコミュニケーションが主流になっている生徒たちには、意識しないと長文を読む機会が減っている実態があるのではないのでしょうか。読書の効果を裏付けるデータが、国際的な学力調査（2015年PISA調査）「15歳生徒の読書頻度と読解力平均点」にありました。これによると、漫画を週に数回読む生徒とほとんど読まない生徒の間には差がほとんどありませんが、小説を週に数回読む生徒とほとんど読まない生徒の間には、読解力に大きな差があることがわかります。やはり、活字が多い小説などの読み物の方が、文脈や背景を推察しながら読むことから読解力の向上には効果があるようです。どうしても活字が苦手な場合は、勉強以外の話題で「なぜ、そうなんだろうね」「これって何のためなんだろうね」など、日常会話を「問い」の形にすると考える力や理解する力を高めるトレーニングになるそうです。活字の苦手な生徒にはぜひ薦めたい方法です。各ご家庭でもお子様との会話を少し変えて試してみたいはいかがでしょうか？

校内ダンス発表会

保健体育科 近藤 美咲

12月14日(金)、校内ダンス発表会を行いました。1・2年生共通テーマは、ここ数年に引き続き『オリンピック・パラリンピック』でした。今年度から、創作ダンス(多様なテーマから表したいイメージをとらえ、動きに変化を付けて即興的に表現するダンス)



現代的なリズムのダンス(ロックやヒップホップなどの現代的なリズムの曲でリズムの特徴をとらえ、変化のある動きを組み合わせ、体幹部を中心に全身で自由に弾んで踊るダンス)に力を入れて授業を行いました。

生徒たちは、授業で教わったヒップホップのステップをうまく組み合わせ、クラスのダンスに取り入れたり、はじめ・なか・おわりのグループリーダーを中心に動きを考えたりと、とてもよく頑張ってクラスのダンスを作ってくれました。各クラス、共通テーマからさらにクラステーマを考え、そのテーマに合った振り付けや隊形を工夫していました。1・2年生とも、クラスで1つの作品を作るということに昨年度から取り組み(一昨年までは1年生は男女別でした)、集団で協力することの難しさや達成感を感じる機会になったと思います。

生徒たちの感想をみると、

- 無理だと思ったけれど、皆と協力すればなんとかなった。
- ダンスが好きな人も嫌いな人もいるので、両方の立場で考えなければならぬと感じた。
- 人をまとめることの難しさ、支えてくれる友のありがたさを学んだ。
- 困ったとき、助けてほしいときに、友達がいるのはとても嬉しいことだと思った。
- 実力よりも気持ちの方が大事。
- 自分の考えを発言するということはすごく勇気が必要だけれど、その勇気を出すことがとても大切だと思った。自分の意志や考えをもって行動しなければならないと学んだ。
- みんなと団結することで、できることの範囲が広がることを知った。
- 自分がやりたくないことや苦手なことに対して、やろうという気持ちを大事にすることが良いと思った。今後、自分がそういう場面にあっても、それを楽しくやれるように努力することが大切だと思った。

というような前向きな感想が、紹介しきれないほどありました。ダンス発表会という行事を通して、ダンスという技能だけでなくもっと重要なことを生徒たち自ら学んでくれたことをとても嬉しく思います。

今年度は初めて、エンディングダンスにも挑戦しました。全体での練習時間がなくぶっつけ本番だったた



め、うまくいかない部分もありましたが、最後まで一生懸命踊る皆の姿に感動しました。生徒たちひとりひとりがこの行事を通して学んだことを、今後の学校生活に活かしてくれることを期待します。

当日、生徒たちの発表を見に来てくださった保護者の皆様、地域の皆様、本当にありがとうございました。

平成30年度 練馬区中学校生徒作品展

本校からは以下の生徒の作品が出品されました。

～美術科～ （「砂絵による模写」と「漢字のイメージデザイン」は昨年度制作したものです）

「上ばきのデッサン」(第1学年) 6名

芦沢 瑠夏 (B)・伊藤 妃萌 (C)・小山 輝乃 (C)
神谷 道郎 (E)・新本 和馬 (E)・小林 望鈴 (E)

「漢字のイメージデザイン」(第2学年) 6名

八田 美桜 (A)・宮崎 琳子 (A)・伊藤 愛海 (B)
横手 瑚野花 (D)・小山 望咲 (E)
鈴木 愛莉 (F)

「パソコンによる透視図デザイン」(第3学年) 10名

野村 和矢 (A)・萩本 快斗 (A)・田中 みのり (A)
妹尾 海 (C) 伊藤 凜奈 (C)・堀越 涼葉 (C)・後藤 祥太 (D)
吹田 望羽 (D)・深谷 大喜 (F)・陣内 美咲 (F)

「砂絵による模写」(第3学年) 6名

中川 歩 (A)・伊藤 凜奈 (C)・村田 さくら (D)
水谷 梨玖 (E)・荒井 日莉 (E) 鈴木 律子 (E)

「木彫時計」(第2学年) 38名

A組・・・須藤 一康、高橋 涼聖、田口 湧大、藤井 快世、
富澤 美心、八田 美桜、宮崎 琳子

B組・・・伊藤 愛海、大島 由愛、大塚 夏未、栗島 陽菜、
白石 海祐、関 香凜

C組・・・長谷川 直人、内海 碧南、川谷 望天、川村 碧子、
菊間 美津希、阪下 萌子、田中 葉乃香、
中村 愛花、西嶋 あい、藤巻 由紀、水垣 理央、
山本 かなで

D組・・・入倉 温子、清田 波琉、山下 天

E組・・・小山 望咲、西田 麻沙、松崎 あうら

F組・・・内田 玲央、平賀 智也、福永 淳起、太田 陽菜、金子 沙矢、川畑 桃、李 睿



～技術科～

「キーホルダー」(第3学年) 7名

西浦 虎太郎 (A)・田中 みのり (A)・岩渕 駿 (C)・山賀 豪 (C)
加茂 玲奈 (E)・蓑原 愛奈 (E)・榎本 啓人 (F)

「棚」(第1学年) 5名

藤井 陽希 (A)・松岡 由莉 (A)・三浦 リオ (B)
小山 輝乃 (C)・初岡 直哉 (E)



(家庭科は裏面にあります)

～家庭科～ (3学年のハーフパンツは、昨年度製作したものです)



「ハーフパンツ」(第3学年) 6名

堀越 涼葉 (C)・渡邊 莉紗 (D)・水谷 梨玖 (E)
簗原 愛奈 (E)・高橋 一輝 (F)・林田 栞太郎 (F)

「ハーフパンツ」(第2学年) 13名

藤井 快世 (A)・有田 紗梨 (A)・伊藤 愛海 (B)
関 香凜 (B)・徳永 想太郎 (C)・山本 かなで (C)
戸嶋 天雅 (D)・坂田 琉那 (D)・幸田 一冴 (E)
小山 望咲 (E)・林 世麟 (E)・鈴木 愛莉 (F)・成岡 紅音 (F)

今月の西中生の活躍

駅伝

練馬区中学校 PTA 連合協議会 駅伝大会(12/1)

女子 第4位、男子 第8位、窪田 ころろ 区間賞

(2年生の中村愛花さん、西田麻沙さん、上田彩月さんが2/3に行われる中学生「東京駅伝」の練馬区代表選手として練習会に参加しています。)

選手団結団式



バレーボール部

第71回練馬区民体育大会(12/16)

男子バレーボール競技 第2位



バドミントン部

第30回稲城市ジュニア選手権大会(12/24)

中学生女子ダブルス 第1位 木下 春菜・神戸 菜々美
第2位 菊間 美津希・福田 琴弓
中学生男子ダブルス 第1位 山田 和祁・平賀 智也
中学生男子ブロック 第1位 須藤 一康



練馬区いじめ一掃プロジェクト (1/17)

児童会・生徒会部門

学校奨励賞 石神井西中学校・石神井西小学校・関町小学校・立野小学校 (小中一貫教育連携校)
(児童・生徒会サミットで提案された「思いやりの木」の取組が評価され、その内容についていじめ防止実践事例発表会で佐藤由乃教諭が発表します。1/17、16～17時 練馬区生涯学習センターホールにて)

平成30年度 薬物乱用防止ポスター・標語

練馬地区協議会選考入選作品 ポスター部門 優秀会長賞 STOP! DRUG! 2年 富澤 美心

(応募校12校、391作品の中から優秀会長賞に選ばれました。1/22～28 練馬区役所本庁舎アトリウムに展示されます。)

東京都中学校読書感想文コンクール

東京都 佳作 『自分』でいること 3年 鈴木 律子